

カントリーレポート

ジェンダー主流化政策のための行政官セミナー

1. Ms. Vatthana INLORKHAM : ラオス ラオス国家女性委員会 事務局 広報渉外部 技官

2. 基本情報

ラオス人民民主共和国(Lao PDR) は内陸国で、北に中国、北東にミャンマー、西にタイ、南にカンボジア、東にベトナムと国境を接する。

ラオスの特徴としては 1900km に及ぶメコン川が北から南へと流れており、その面積は 236,800 km² で国土の 70% が高原や高い山脈であること等が挙げられる。17 州 (16 州及び首都ヴィエンチャン州)、141 地域と 10,522 村 (2005)から成り、人口は約 560 万で、そのうち 50.2%が女性である。国民は仏教徒で公式言語はラオ語である。

3. 私の職務

私は広報渉外部に所属し、その職務は以下の通りである：ジェンダーの視点からの開発パートナーや国際機関、その他 NGO 間の調整及び情報共有；ラオス国家女性委員会 (LaoNCAW) プロジェクトの各四半期における作業計画書の作成；女性差別撤廃条約(CEDAW)レポート作成のための、全分野における女性の地位関連データ収集における部長の補佐；LaoNCAW プロジェクトの参加型評価に関するデータ収集における部長の補佐

4. 男女共同参画推進へ向けた主な政策

ラオス政府は男女共同参画推進を優先事項とし、男女が共にその経済発展に関与できるように意識的な努力をしている。男性と女性は憲法で同等の権利を有し、ジェンダー配慮に基づく開発の指揮を取るための国家的メカニズムが LaoNCAW によって構築された

LaoNCAW はフォーカルポイントとしての役割も担い、男女共同参画および女性に対するあらゆる差別の撤廃を推進する政府の政策実行に関して、地方当局や国際機関と緊密に連携せねばならない。LNCWA はこれまで女性の地位向上のための国家戦略 (NSAW ; National Strategy for the Advancement of Women) 2006-2010 を実施してきた。同戦略は、北京行動綱領、関連国際条約やミレニアム開発目標に整合している。同計画には、以下の 5 プログラムが包含されている。

- 国家成長・貧困撲滅戦略 (NGPES) の実行における女性参画の向上
- 女性・女子に対する、教育その他における男性・男子と平等な機会の付与
- 女性の医療サービスの向上
- あらゆるレベルにおいて指導的地位における女性数の増加
- 女性の保護・女性の地位向上推進に関わる国家的機構の能力強化

5. ジェンダー主流化における 3 つの主な障害

ジェンダー主流化における 3 つの主な障害は:

- ジェンダーの概念に関する知識不足

- プログラムの枠組みや研修を通じてジェンダー主流化を効果的に実行する人材が不足していること
- ジェンダー主流化プロセスを支援する予算・資源の不足

6. 研修で習得したこと

この研修や他研修員から得た知識や技術は大変有益である; ジェンダー主流化に関して LaoNCAW の能力をいかに強化・向上させるかという問題について知識が深まった; 研修後も私は部長補佐として LaoNCAW プロジェクトの能力強化という任務に従事し、特に男女共同参画についての意識向上の推進継続に力を入れ、CEDAW の普及を図り、CEDAW 定期報告書第 6、7 版作成に向けて CEDAW 委員会の最終所見をまとめる。

7. アクションプラン

- 7.1 タイトル:** 女性分科委員会 (Sub-CAWs) の管理職を対象としたジェンダー主流化についての能力強化プログラム
- 7.2 目標:** SubCAW の中間管理職レベル職員の能力を強化し、ジェンダー主流化政策を実施する
- 7.3 対象機関:** ラオス国家女性委員会事務局
- 7.4 期間:** 1 年 (2010 年 3 月～2011 年 2 月)
- 7.5 実施機関:** ラオス国家女性委員会 (LaoNCAW)
- 7.6 対象グループ:** 3 省 (保健省、教育省、計画投資省) 及び 2 州 (ヴィエンチャン、シエンクワン) における女性分科委員会の部長
- 7.7 活動:**
- ジェンダーの視点から見た基本的な職場管理についてのワークショップ実施
 - 基本的なジェンダー主流化技術についてのワークショップ実施
 - ジェンダー配慮 PCM についてのワークショップ実施
 - 参加型モニタリング及び評価プロジェクト
- 7.8 期待される成果**
- 3 省 2 州における女性分科委員会の部長が基本的な職場管理及びジェンダー主流化概念についての理解を深める
 - 女性の地位向上のための国家戦略 (National Strategy for the Advancement of Women) と各自の部署の計画を関連付け、独自のアクションプランを策定することができる
 - 独自のジェンダー主流化アクションプランの効果的な実施、モニタリング、評価を通して自分の部署を援助することができる